



## DOCOMO TEAM DANDELION RACING Team Release

### 決勝レポート

#### 2020/12/6 Rd-6 鈴鹿サーキット

天候：晴れ 気温：15℃ 出走台数：20 台

観客数：5 日(土)8,000 人 6 日(日)12,500 人 合計 20,500 人

2020 年後半戦も山場となる鈴鹿サーキット 2 連戦。第 6 戦 鈴鹿サーキット決勝は、昨日に続き、12 月としては比較的暖かな快晴の下でスタートの時を迎えた。

2 周のフォーメーションラップを終えて迎えたスタート。抜群の蹴りだしを見せた福住選手は、3 番グリッドの山本選手を押さえ 3 位で 1 コーナーへ。福住 3 番手、山本 4 番手でオープニングラップを周回。だが、その翌周 2 周目のシケインで早くもクラッシュ発生。セーフティーカーが導入される。そのセーフティーカーラン中の 5 周目、山本選手から突然のギアボックストラブルの無線がチームに入る。チームは、トラブルを解消すべくセーフティーカーラン中の山本選手に様々な指示をするが、どの対処も功を奏さず、ピットに向かうとそのままリタイアとなってしまった。

6 周目にリスタートするが、8 周目の 1 コーナーでエンジントラブル車両がストップ、同タイミングでリアタイヤバースト車両もあり、再びセーフティーカー導入となる。セーフティーカーラン中の 10 周目、ピットストップウィンドウが開くとすぐに、チームは福住選手を呼びタイヤ交換を済ませるが、ピットでの逆転はなく実質の 2 位でコースへ復帰した。トラブル車両の回収が終わり、12 周目にリスタート。福住選手はトップを走る大湯選手に何度も仕掛けるが攻略には至らない。19 周目には S 字コーナーでスピン車両があり三度のセーフティーカー導入。23 周目にリスタートされると、残り 7 周、オーバーテイクシステムを使った攻めを最後まで続けるも、わずか 0.462 秒差の 2 位でレースを終えた。

#### 5：山本選手 リタイア

スタートでは福住選手に先行を許してしまいましたが、マシンの調子は良かったのでタイヤをケアしながらチャンスを伺っていました。そんな矢先にトラブルが出てしまいリタイアとなったのは、ドライバーそしてチームタイトルを考えるうえでとても残念です。

ドライバーポイントは同点で、チームポイントも僅差で迎える最終戦、両タイトルをかけて臨む 1 戦として、チーム一丸となって昨年のリベンジを果たします。

#### 6：福住選手 2 位

これまで多くのチャンスがありましたが、中々上手くかみ合わず、ようやく 2 位表彰台で終わることが出来て、やっと自分の実力を出せたかなと思います。山本選手がリタイアと聞いたときは、チームタイトルのためにも絶対に優勝したいとさらに強く思いました。オーバーテイクシステムを上手く使って攻めて走りましたが、わずかなチャンスを活かしきれなかったことが悔しいです。2 年連続チームタイトルに向けて、自身の初優勝に向けて、最終戦をしっかりと戦いたいです。